
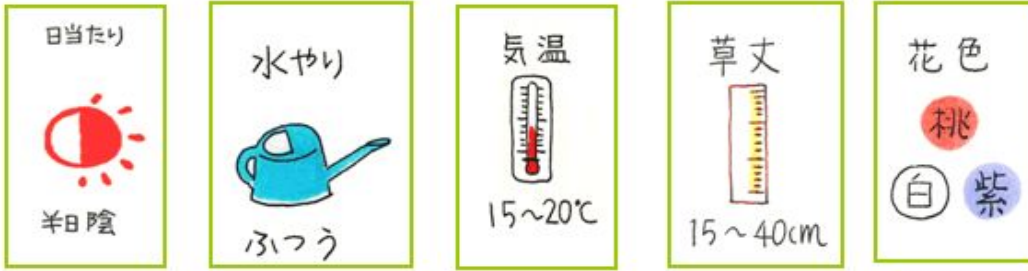


お花の栽培シリーズ「サクラソウ」

2007年2月	如月(きさらぎ)・令月(れいげつ)・梅月(むめづき)・梅見月(むめみづき)・初花月(はつはなつき)・雪消月(ゆききえつき)・仲月(ちゅうしゅん)	●春に向けての準備期間
●立春がすぎると気候にも変化が始まり、自然界には「春」がやってきます。凍っていた地面がゆるんで、土がやわらかくなるこの時期には、本格的な春に向けての準備をしましょう。		
庭木の作業	・凍っていた地面がゆるむと、穴を掘り元肥を入れて準備する。冬囲いをとる。バラやフジなどの花木では、整枝剪定の時期です。	
草花の作業	・1月に掘り起こした土に堆肥や有機配合肥料を全面にまきましょう。	

今月の誕生花	ウメ・サクラソウ・スノードロップ・フクジュソウ	
今月の花	<p>スイセン 花言葉 / うぬぼれ、自己愛、自尊心、気高さ、愛をもう一度</p>	
	<p>ギリシャの美青年ナルキッソスは、その美貌ゆえにたくさんの乙女たちの心をとりにしましたが、自分から相手を愛そうとはけっしてしませんでした。 森のニンフ エコーも、ナルキッソスに恋をしますが、話しかけられた相手の最後のセリフだけを繰り返すようにへらから呪いをかけられてしまったので、ナルキッソスにうまく話しかけられず、相手にしてもらえません。 嘆き悲しんだエコーは姿を消し、声(木霊)だけがそこに残ったと言われています。 そして、それを見ていた復讐の女神ネメスが(エコーが願ったとも言われる)、他人を愛せないナルキッソスに彼自身だけを愛するように呪いをかけました。 ナルキッソスは水面に映った自分の姿に恋をして、その恋の苦しみで食事もできなくなりやせ細って 1本の白いスイセンになったということです。 ギリシャ語のナルキッソスは、ナルケーという語が語源で「麻痺させる」「昏睡、無気力、無感覚」を意味しますが、花の香りが強いので、そのために 麻痺したり 麻酔の意味があるとされるようです。</p>	
	<p>原産地はスペイン、ポルトガル、地中海沿岸、北アフリカ。ヒガンバナ科スイセン属の多年性球根植物。草丈は20~40cm。開花時期は10~4月。最盛期は12~4月。葉の形状は、帯状や線状の平たい葉2~5枚、長さ20~30cm。花色は、赤・ピンク・黄・オレンジ・白・緑・複色・覆輪・底白。英名ダフオディル(Daffodil)、ナルキッソス(Narcissus)。別名ナルシサス、雪中花、水仙。</p>	
	<p>中国では「水の仙人」といわれています。ブーケにすると かわいい花です。</p>	



サクラソウの仲間、Primuraの属名でくられる種類は、世界中に五百数十種あります。

日本でも 16種類ほど 自生しています。

とくに 埼玉県の田島原の自生地は 天然記念物に指定されています。

また、品種改良の歴史も古く、日本では 江戸時代の文化、文政期のころまでさかのぼります。

いまでも 園芸品種用として改良され、何百種類も栽培されています。

仲間には、ユキワリソウ、イワザクラなどがあります。

色の種類は、ピンク色が中心で 白や紫などがあります。葉の間から花弁が高く伸び、ひとつの花柄に5弁の花が咲きます。



園芸用のサクラソウには、専用の桜草鉢(直径15~18cm、高さ18~21cm)があります。

それ以外の鉢を使う場合には、厚手の深鉢をつかいます。

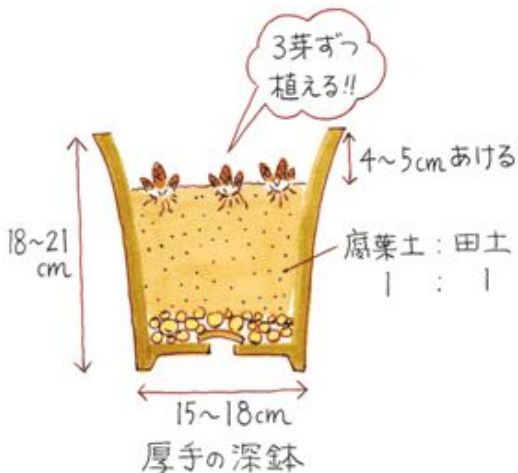
露地植えの場合には、半日くらい日が当たる湿度のある場所に植えます。

多年草ですが、植えたままにしておくと いつの間にか なくなってしまいます。

長く楽しむためには、毎年かならず 植え替えるようにしましょう。

プリムラ類と異なり、冬は休眠しますので 冬のあいだの保護は不要です。

● 植えつけのやり方



●増し土のやり方



花後1ヶ月おきに
2~3回増し土をする



葉を手でおさえ
土を根元に入れる

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
状況	休眠期		花期									休眠期
置き場	屋外の日陰	屋外の日当たりのよい場所				屋外の半日陰/ 露地栽培は日よけをする			屋外の日当たりのよい場所			
水やり	表土が乾いたら与える(4~5日に1回)		表土が乾いたら与える(1~2日に1回)						表土が乾いたら与える(4~5日に1回)			
肥料			置き肥 ◎				月に2~3回、液肥を与える					
			月に2~3回、リン酸とカリ分が多い液肥を与える			月に2~3回、リン酸とカリ分が多い液肥を与える						
病虫害								月2回、ハダニの予防に、葉裏に水をかける。 発生したら、殺虫剤を散布する				
作業	植えつけ					増し土	増し土	増し土				
	植え替え/株分け											